

高齢者の「自分らしく生きる力」をどのように測るか

－何を測るかが、何を実現できるかを決める－

概要

世界保健機関（WHO）が提唱したヘルシーエイジングは、高齢になっても「自分が価値を感じることを行い、自分らしく生きる力（機能的能力）」を養い維持する過程と定義されています。WHO は 2021 年から 2030 年までを「ヘルシーエイジングの 10 年間（Decade of Healthy Ageing）」と定め、その進展を測るため各国に機能的能力のモニタリングを促しています。

大阪医科薬科大学 医学部 医療統計学研究室 西尾 麻里沙、伊藤ゆり教授、京都大学 社会疫学分野 近藤尚己教授、世界保健機関（WHO）Jotheeswaran Amuthavalli Thiyagarajan らの研究グループは、この「機能的能力」を、世界でどう測定すべきかを論じました。各国で定義や測定方法が異なる現状を整理し、概念の明確化、国際的な測定枠組みの統一、AI と機械学習を活用した個別化評価の展望を提示しています。

本論考は、2025 年 11 月に老年学の国際誌『Age and Ageing』（英国老年医学会誌）にオンライン掲



載されました。

報道発表 Press Release No: *

2025 年 11 月発行



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



お問い合わせ先：大阪医科薬科大学 医学部 医療統計学研究室 日本学術振興会 特別研究員-PD
Marisa.nishio@ompu.ac.jp



1. 背景

世界的に高齢化が進むなか、WHO は「健康な高齢化（ヘルシーエイジング）」を、人が高齢になっても個人の価値観に基づいた生活を続けられるよう支援する考え方として提唱しました。その中核にある「機能的能力」は、身体的・精神的な健康状態だけでなく、社会的なつながりや意思決定の力などを含む包括的な概念です。しかし、国や地域によって異なる定義や測定方法が用いられており、国際的な比較や政策評価を困難にしています。

2. 趣旨

本論考は、「機能的能力とは何か」を改めて問い直す学術的・政策的な論考です。著者らは、①WHO が定めた機能的能力の 5 つのドメイン（基本的ニーズを満たす能力、学び・成長し・意思決定する能力、移動する能力、人間関係を築き維持する能力、社会に貢献能力）を基盤とした共通理解の重要性、②各国が行なっている高齢者縦断調査に機能的能力の概念と測定尺度を統合する必要性、③AI や機械学習を活用した機能的能力の個別化評価の可能性を指摘しました。これらの視点は、国際比較可能な測定の枠組みをつくるための土台となり、今後のデータ整備や政策立案に貢献するとしています。

3. 意義と今後の展望

本論考は、「何を測るかが、何を実現できるかを定める」というメッセージを掲げ、ヘルシーエイジングの理念を再確認するものです。今後は、WHO が行う世界高齢者調査（Global Ageing Population Survey: GAPS）などの大規模社会調査において、この議論を具体的な指標づくりとデータ整備へつなげることが期待されます。また、機能的能力の個別化評価が進めば、高齢者一人ひとりの「自分らしく生きる力」をよりの確に支えることができると考えられます。

4. 研究プロジェクトについて

本研究は、日本学術振興会 特別研究員制度（課題番号 25KJ0365）の支援を受けて実施されました。大阪医科薬科大学、京都大学、世界保健機関（WHO）の連携による国際共同研究の一環です。

<研究者のコメント>

ヘルシーエイジングを実現するには、“何を測るのか”という原点に立ち返ることが重要です。世界共通の基準で『自分らしく生きる力』をとらえることができれば、国を超えて高齢者の幸福を支える仕組みづくりが進むと考えています。

<論文タイトルと著者>

タイトル: Towards a Global Scale for Functional Ability: What Gets Measured and Gets Done — But Are We Measuring the Right Thing?（世界共通の「機能的能力」尺度へ—何を測るかが、何を実現できるかを定める—）

著 者: 西尾麻里沙、伊藤ゆり、近藤尚己、Jotheeswaran A Thiyagarajan

掲 載 誌: *Age and Ageing* 2025; 54: afaf323

DOI: <https://doi.org/10.1093/ageing/afaf323>

報道発表 Press Release No: *

2025 年 11 月発行



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



<お問い合わせ先>

氏名（ふりがな）：西尾 麻里沙（にしお まりさ）

所属・職位：大阪医科薬科大学 医学部 医療統計学研究室 日本学術振興会 特別研究員-PD

TEL：072-683-1221 (内線: 3954)

E-mail：marisa.nishio@ompu.ac.jp